

よどふあるの友

2023年1月発行
NO.20

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

第9回西淀川フードバンク報告

寒い中、参加されたみなさん、お疲れ様でした。
仕事などで参加出来なかったが、様々ご支援頂いたみなさんも、ありがとうございました。

第9回西淀川フードバンクは、12/29来場者358人、当日ボランティアは、高校生の参加を含めて80人でした。来場者の中には、無保険と回答された方が12人、暖房器具がまったくないと回答された方が5人おられました。

提供して頂いたコタツをお家にお届けしたケースもありました。また、年を越しますが、提供することをお約束した方もいました。物心両面での支援があったからこそ、寄り添えたことだと思います。ありがとうございました。



お疲れ様でした
今回は品数も多くて、選ばれる時間で待たせてしまった感がありますが、喜んで頂いたように思います！
コロナ感染でボランティアさんが少なくて大変でしたが、新しいボランティアさんも多くて、何とか無事完了しました！課題も見えました！
どれだけ「困っている方」に寄り添えて行動出来るか、向き合いましょう

HPH委員会 中村 玉枝



「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

法人第2回「やさしい日本語」学習交流会に参加して

12月17日淀協医活委員会主催の第2回目となる「やさしい日本語学習会」が開催され20名ほどの職員が参加されました。

西淀病院副院長の結城先生の開催挨拶の中で、「外国の方は医療機関にかかるのはとてもハードルが高い。皆さんがかかれる医療機関介護施設になりましょう。そのためにもスキルを学んで職場で役立てましょう」と話されました。

講師には吹田市国際交流協会から、オリガさんとアインさんが来られました。オリガさんは日本に来てから病院にかかるまで3年かかったと言われそのハードルの高さを感じました。



次に、グループでシナリオにそってどのような言葉や動作で説明すれば伝わるかグループで検討した後、実際に講師の方とロールプレイをしました。講師からは、ここは良かった、この言葉はわからないのでこういった方がいいなど直接アドバイスをいただくことが出来ました。

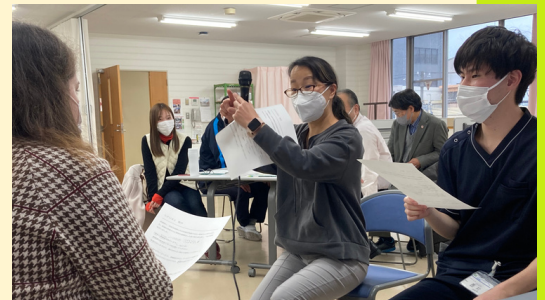


日頃何気なく話している言葉が、わからない、伝わらない。一方的に話すと、わからなくても”はい”と答えてしまうので、1つ1つ“判りますか？”と確認していき、わからなければ違う言葉に言い換えて確認していくと良いとのことでした。

また、言葉の問題は災害時にも避難場所や救援物資などの情報が難しく、避難が遅れた外国の方がおられ、大きな問題であると言われていました。

やさしい日本語は、外国人だけでなく、高齢者やお子さんなど様々な人に必要な事だと思います。

今後も、このような学習会に参加して、実際に外国の方と話してみることは今後活かせると思います。機会があれば、是非参加してみてください。文化や制度の違いなどで言葉選びの難しさなどいろいろな発見があります。



法人HPH委員会 橋本 一代

毎月22日はスワンスワンの日

13:00~13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)

日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



HPH1月アンケート